

2011 年 4 月 1 日

株式会社スカパーJSAT ホールディングス
スカパーJSAT 株式会社

社長就任あいさつ要旨

本日、2011 年 4 月 1 日付で株式会社スカパーJSAT ホールディングス代表取締役社長及びスカパーJSAT 株式会社代表取締役 執行役員社長に高田真治が就任いたしました。

就任にあたり、社内であいさつをいたしましたので、その要旨をお知らせします。

本日付で株式会社スカパーJSAT ホールディングス代表取締役社長、スカパーJSAT 株式会社代表取締役 執行役員社長に就任いたしました。秋山前社長のご指導のもと、スカパー！、JSAT、宇宙通信の3社が合併をし、その効果を最大限に発揮するべく、宇宙・衛星ビジネス、有料多チャンネル放送ビジネスの礎を築いてきて、今回、バトンを渡されたわけですが、微力ではありますが、持てる力の全てをだし、皆さんと共に全力で頑張りたいと思っています。

東日本大震災の直接的な被害を建物等に受けながらも衛星管制業務を滞らせることなく行ってくれた皆さん、フローアとして使えない環境がでているにも関わらず頑張ってくださったスカパー！のカスタマーセンターの皆さん、それらの部署や人々を支え当社の業務を日常と変わりなく運営できるようサポートをしてくださった全ての皆さんに感謝を申し上げたいと思います。災害対応機関等におかれましては、現在も災害復旧業務の推進にあたり当社の通信衛星をご利用いただいています。当社としては、迅速な対応の継続を心がけてください。また災害に合われたお客様へどのようなご支援ができるのかについても、お客様の目線になって検討を続けていただきたいと思います。

さて、今年度の方針ですが、有料多チャンネル放送事業においては、「スカパー！e2」を主軸に新規拡大をはかり純増をめざしていくことは変わりません。今年は、地上デジタル放送への完全移行が終了し、全ての家庭に3波が内蔵されたデジタルテレビが普及していきます。また、10月に新BS放送も開始されます。当社にとっては、多くの方が多チャンネル放送に気づいていただける年となります。このチャンスを活かし、お客様の生活スタイルに合致したスカパー！の3サービスを楽しんでいただけるようにしたいと思います。衛星事業については、官公庁をはじめとする長期契約のお客様との関係を保持・強化したうえで、アジア、太平洋州を中心に高まっている衛星市場を開拓し、積極的に外にでていくという意識で取り組んでいただきたいと思います。そして、会社としては、なにより「筋肉質」な組織を目指したい。限られた経営資源

のなかで、全ての業務を根本から見直し、不透明な社会・経済環境ではありますが、どんな状態でも利益をだし、将来に備えることのできる企業でなくてはなりません。

固定費は極力そぎ落とし、きちんとコストコントロールをするとともに、成長に必要な費用はかけ、メリハリをつけていくという意識を常に持っていただきたいと思います。守りと攻めをしっかりと押さえて進んでいかなくてはならないということを受け止めてください。

最後に、当社では合併以来、皆さんの心に刻んでいただきたいということで「コンプライアンスの徹底」をお願いしてきました。企業にとっての危機は経済的な低迷や天災だけでなく、コンプライアンス意識の欠如からもたらされる事象があります。一部に違反をする人がいれば、その些細な行動が会社の利益、長年培ってきた信用やブランドを瞬時に喪失させてしまいます。地に落ちた信用やブランドは企業の屋台骨を揺るがせてしまいます。これは私がここで言うだけでなく、日常から一人ひとりが遵守をしていくことが大切です。ぜひ忘れないでいただきたい。

私たちの英知を傾け環境を活かせば必ずや成長企業となります。

皆で力を結集し、頑張りましょう。

以 上